

認証評価の国立大学法人評価における活用例

認証評価の国立大学法人評価への活用方法としては、例えば以下のようなものが考えられる。

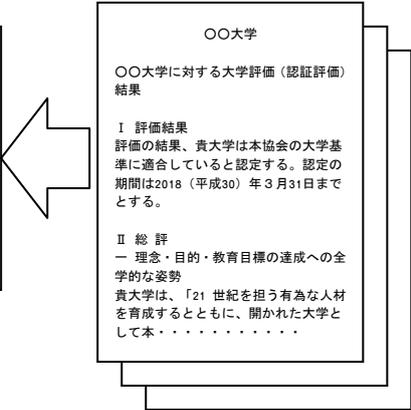
(1) 認証評価結果を国立大学法人評価のエビデンスとして活用

法人が、機関別認証評価(並びに専門分野別認証評価)の結果を、国立大学法人評価の際にエビデンスとして、活用する。

例えば、認証評価結果の指摘事項として記載されている事項について、法人は、それらと関係のある中期目標の達成状況評価のエビデンスとして取り上げることが考えられる。

【中期目標の達成状況報告書への記載イメージ】

平成〇〇年度に単位互換を視野に入れた〇〇市内3大学共通の遠隔授業システムを開発し、模擬授業と特別講演の中継を行った。……更に、県南部の本学〇〇キャンパス(平成〇年度設置)にも配置、今後、遠隔地の高校生も配信授業が聴講できる体制を整備し、高大連携の促進を図った。**(認証評価結果 P〇〇参照)**



(2) 認証評価の提出資料の活用

機関別認証評価(並びに専門分野別認証評価)の提出資料を国立大学法人評価の提出資料とする。

資料を転載または、共通化することにより、法人における提出資料の作成の負担が軽減される。

【例: 単位互換協定に基づく単位認定の状況】

表3-5 単位互換協定に基づく単位認定の状況及び単位互換協定以外で大学独自に行っている単位認定の状況(前年度実績)

| 学部・学科 | 単位互換協定に基づくもの | | | | | | 単位互換協定以外のもの | | | | | | |
|-------|--------------|----------|------|------|----------|---------------------|-------------|-----------|------|----------|------|---------------------|------|
| | 認定者数(a) | 他大学 | | 短期大学 | | 1人当たり平均認定単位数(b+e)/a | 認定者数(d) | 大学・短大・高専等 | | その他 | | 1人当たり平均認定単位数(e+f)/d | |
| | | 認定単位数(b) | 専門科目 | 専門以外 | 認定単位数(c) | | | 専門科目 | 専門以外 | 認定単位数(f) | 専門科目 | | 専門以外 |
| 〇〇学部 | 〇〇学科 | | | | | | | | | | | | |
| 〇〇学部計 | | | | | | | | | | | | | |
| 〇〇学部 | 〇〇学科 | | | | | | | | | | | | |
| 〇〇学部計 | | | | | | | | | | | | | |
| 合計 | | | | | | | | | | | | | |

(3) 認証評価結果を提出資料として活用

機関別認証評価(並びに専門分野別認証評価)の評価結果について、国立大学法人評価の提出資料として依頼し、指摘事項などについて、参考に評価を実施する。

【例:評価結果の抜粋】

(2) 教育方法等

全学部

入学時から高学年にいたるまで、オリエンテーションを通じて履修指導がきめ細かく行われており、各学部・学科の教育目標、到達目標およびそれを達成するための「くさび型カリキュラム」を学生に徹底させるための努力が継続的に行われている。

シラバスは一定の書式で作成されているが、各回の授業内容に関しては教員間で記述の内容や量などに精粗があり、改善が望まれる。また、1年間に履修登録できる単位数の上限などについては設定されていないので、あわせて改善が望まれる。

(4) その他